

関西大学日本ポピュラー音楽アーカイブ・ミュージアム プロジェクト及びアーティストコモンズの活動について

関西大学社会学部メディア専攻 三浦文夫 2017/07/22

自己紹介

関西大学社会学部メディア専攻教授

慶應義塾大学SFC研究所上席所員

(株)radikoフェロー radikoを考案実用化

民放連元ラジオ再価値化研究グループ座長

民放連シェアラジオ部会特別委員

民放連ハイブリットラジオ部会特別委員

(株)スペースシャワーネットワーク社外取締役

アーティストコモンズ幹事

関西大学音楽アーカイブ・ミュージアムプロジェクト代表

サイバー関西プロジェクト幹事

マルチスクリーン型放送研究会顧問

元電通 (テレビ、営業、デジタル、国際)

アーカイブ構築の状況および課題(音楽映像を中心に)

- 1 プロジェクトの概要**
- 2 音楽映像アーカイブの技術的課題**
- 3 アーティストID (アーティストコモンズの活動)**
- 4 権利関係の課題**
- 5 運用体制および資金調達**

音楽関係のアーカイブ状況

音源に関してはデジタル化が進んでいるが
統合的なアーカイブ構築には至っていない

発売した音源に関してはレコード会社各社で
デジタル化を行っている

アナログレコードに関しては金沢工業大学
ポピュラー・ミュージック・コレクション (PMC) が
寄付により20万枚以上収蔵

20世紀初頭～1950年代のSPレコードは
国会図書館にて歴史的音源としてデジタル化

SPレコードを蓄音機で再生(蓄音機も一種の楽器)
ハイレゾ立体音響での収録の試み(関西大学)

ハイレゾ・立体音響による蓄音機録音



関西大学博物館

ソシオ音響スタジオ(ハイレゾ、立体音響)



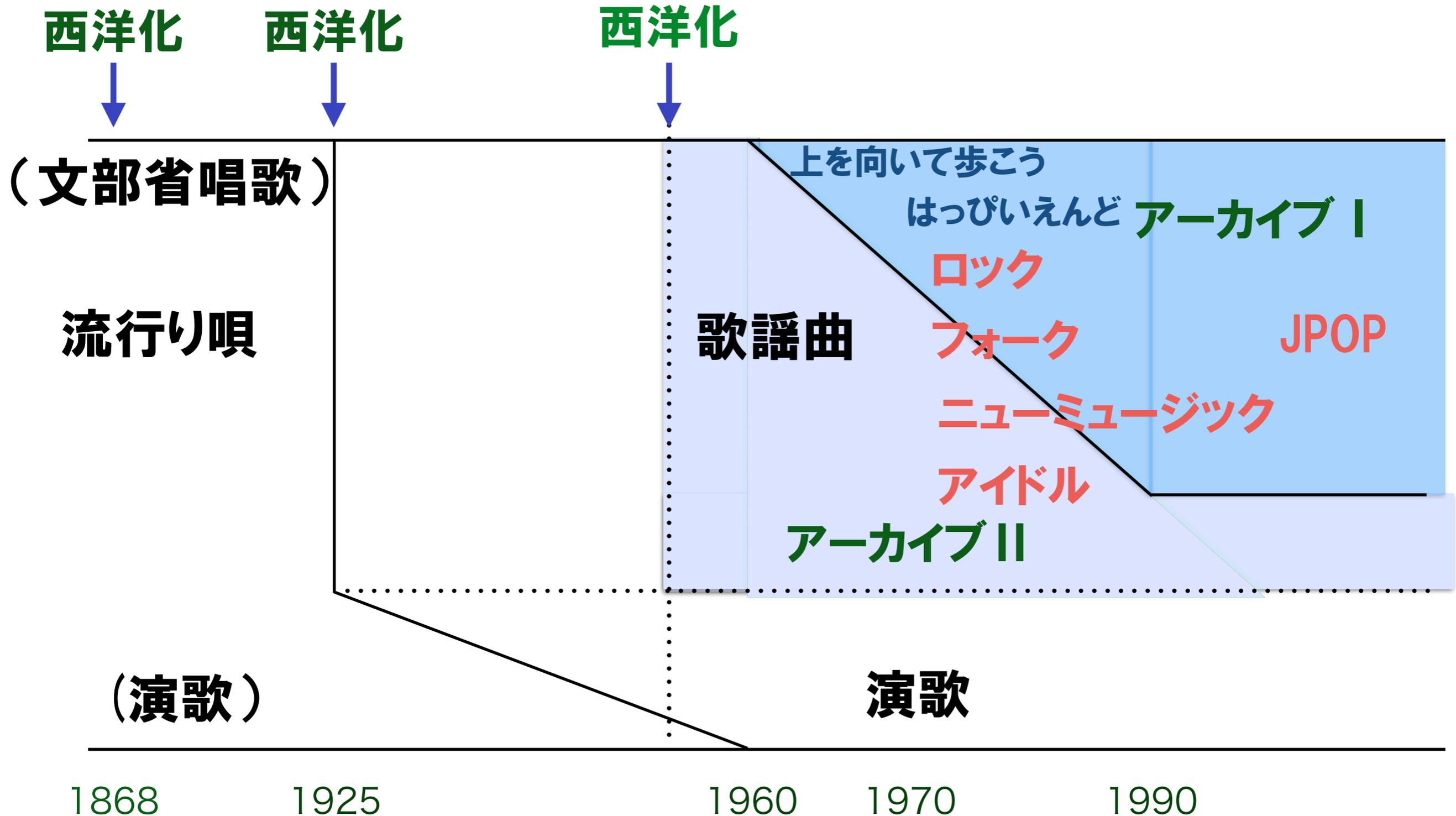
関西大学音楽アーカイブ・ミュージアムプロジェクト

1950年代後半から現在に至る日本のポピュラー音楽を体系的に整理し、ドキュメント、画像、音源、映像資料によるアーカイブ構築をめざす

蓄積、保存された文化資産をどのように公開すべきか、ポピュラー音楽ミュージアムの在り方を研究する

日本ポピュラー音楽史のモデル(小川博司)

アーカイブ対象(アーカイブ I を構築中)



アーカイブ構築状況および課題(音楽映像を中心に)

アーカイブ構築、デジタル化機材(関西大学千里山)



1970年代前半～現在

雑誌、ポスター、広告などの平面媒体のデジタル化

アーティスト、プロデューサーなどのオーラルヒストリー

ライブ映像、テレビ番組、ミュージックビデオなどの
音楽映像のデジタル化を優先



記録媒体(ビデオ)、再生機器の劣化、権利の所在

2 技術的課題

規格乱立、ハード機器確保の問題

アナログ (フィルム)	16mm/35mm
アナログ (SD)	1インチ、Umatic、BETACAM SP
デジタル (SD)	D1、D2、Digital BETACAM、DV、 BETACAM-SX、DVCPRO、DVCAM
デジタル (HD)	HDV、HDCAM
デジタル	4K 8K H.264 H.265 (HEVC)

**記憶媒体(特にデジタルテープ)の劣化
アナログフィルムは長期の保存が可能**

**映像フォーマットの変化に対応するため、全て
非圧縮ファイルでデジタル化
SDでも1分約1GBの巨大なファイル
現在約8,000本のデジタル化(約60TB)**



60TBのストレージ

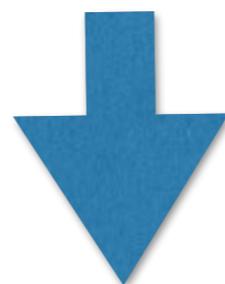
H.264、H.265などの映像フォーマットへバッチで変換



冗長性の確保のためクラウドストレージの利用など
検討しているが、セキュリティとのトレードオフ
著作権法35条の要件が課題

3 アーティストIDなどメタデータ整備

**一意に識別可能なアーティストID、コンテンツID
といったメタデータを整備しないと、アーカイブ構築
と活用が困難である**



**主要な音楽芸能関連団体と
アーティストコモンズ連絡会を発足**

アーティストコモンズ連絡会概要

代表 中井 猛 (株式会社スペースシャワーネットワーク 相談役)
幹事 中村伊知哉 (慶應義塾大学 教授)
三浦文夫 (関西大学 教授)

連絡会参加団体

一般社団法人日本音楽事業者協会 (JAME)
一般社団法人日本音楽出版社協会 (MPA)
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 (芸団協・CPRA)
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 (ACPC)
一般社団法人日本音楽制作者連盟 (FMPJ)
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 (KMD)
関西大学音楽ミュージアム・アーカイブプロジェクト

オブザーバ参加団体

一般社団法人日本レコード協会 (RIAJ)
一般社団法人日本動画協会 (AJA)
一般社団法人著作権情報集中処理機構 (CDC)

アーティストコモンズの活動

一意に識別可能な**アーティストID**の付番管理
(約1万のアーティストIDを付番)

基本的なアーティスト写真、プロフィールの整備

アーティストIDをキーコードにして、様々な
サービスが連携することができる**基盤提供**

4 権利関係の課題

音楽映像の権利

著作権(音楽) 作家(作詞、作曲、編曲)

著作権(映画) 映画、テレビ番組製作者、放送局

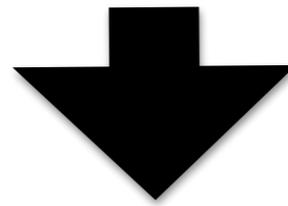
著作隣接権(実演) アーティスト(演奏、歌唱)

著作隣接権(レコード製作者) 原盤制作者

肖像権、パブリシティ権 (法的な規定はない)

アーカイブした音楽映像の公開に向けて

**非営利の教育機関内での教育利用に限り
著作物の複製が可能（著作権法35条）**

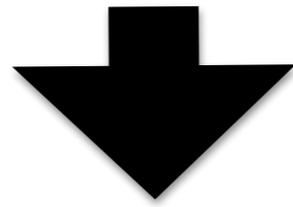


**教育、研究、人材育成、音楽市場拡大などのために
音楽アーカイブの公開、活用ができないか**

**権利者であるアーティスト、音楽関連団体などの
理解を得ることが非常に重要**

5 運用体制および資金調達

継続的なアーカイブ構築および公開(ミュージアム)について単独の研究機関が担うのは無理がある。



**音楽業界、研究機関、サーポート民間企業による
運用母体を作りテーマごとに行政の支援を得る**

**ビジネス展開、個人の寄付など
自走可能な事業計画策定が求められる**